Course nu	U-LAS05 10001 LJ40											
	文化人類学 I Cultural Anthropology I					name and d	Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, KAZAMA KAZUHIRO			
Group Hւ	Iumanities and Social Sciences Field(					(Classifi	cation)	Regi	egions and Cultures(Foundations)			
Language of instruction	Japan	iese			Old	Old group Group A			Number of credits 2		2	
Number of weekly time blocks	1 Class style				Lecture (Face-to-face course)			Ye	ear/semesters	2024 • First semester		
Days and periods		Tue.5				All stud	all students		Eligible students		For all majors	

### [Overview and purpose of the course]

本講義では、文化人類学の基本的な概念や思考法に関する概説を行う。

文化人類学は、西欧近代が圧倒的な他者と遭遇したとき、西欧近代側の人類学者が他者をいかに解釈するかをめぐって展開してきた学問領域である。両者の相互作用を通じて起こった、文化の創出や流用、置換、混淆、模倣、変形等の諸事象に焦点を当てて、具体的な民族誌的事例を紹介して解説を加える。とくに、人間と人間を媒介する贈与交換や貨幣に関するトピックをとりあげ、文化人類学の基本概念や基本的知識を随時紹介して受講生の理解を深めたい。

### [Course objectives]

文化人類学の基本概念を理解したうえで、人類学的な思考様式やパースペクティヴの習得をめざす。日々流通する膨大な情報や身近な出来事について、常識を問い直すことのできる批判的な視点から考察できるような眼を養う。

### [Course schedule and contents)]

以下の項目につき、1~2回の講義を行う。

- 1. 文化人類学とはどのような学問か
  - 1-1.序論
  - 1-2.フィールドワークと民族誌
  - 1-3.現代世界と人類学
  - 2.贈与交換論 人間を結ぶモノ
    - 2-1.古典的贈与交換論
    - 2-2.競覇的関係と贈与
    - 2-3.婚姻・婚資・女性の交換
  - 3.現代の贈与交換と伝統貨幣
    - 3-1.太平洋島嶼部における贈与交換
    - 3-2. 伝統貨幣と贈与交換
    - 3-3.歴史的変化のなかの伝統貨幣
  - 4.貨幣の両義性
    - 4-1. 貨幣のもつ悪魔性
    - 4-2.市場経済と互酬性

Continue to 文化人類学 I (2)

## 文化人類学 I (2)

- 4-3.新自由主義
- 5.総括 現代世界における贈与と市場

## [Course requirements]

None

## [Evaluation methods and policy]

平常点(出席状況等30%)および小試験(70%)による。

#### [Textbooks]

Not used

## [References, etc.]

## (References, etc.)

Introduced during class

授業中、参考文献を適宜紹介するので、積極的に自習すること。

## [Study outside of class (preparation and review)]

文化人類学の基本文献に目を通してから授業に出席することが望ましい。 また、授業中に提示した文献を読みこんで理解を深めること。

# [Other information (office hours, etc.)]

受動的な知識の吸収のみならず、自ら思考する姿勢が求められる。

なお、講義室に収容可能な人数を上限として、受講者数を制限する。制限人数を越えた場合、 KULASISにおいてランダムに選抜する。